

# 本ソフトウェアの概要と操作のながれ

## 1 本ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、本体の測定データをパーソナルコンピューターに読み込み、グラフ表示、解析レポート作成ができます。

本体の測定データを読み込む際に、目的に応じて解析モードを選択することができます。解析モードに応じて、グラフ表示、解析方法、出力される解析レポートの内容が異なります。

- 通常モード : 睡眠測定、24 時間測定など一般的な解析を行う際に使用する解析モードです。作成できるレポートは5 種類で、[ 解析概要 ] [SpO<sub>2</sub> 解析] [ 脈拍数解析 ] [トレンドグラフ(24 時間表示) ] [トレンドグラフ(横軸 60 分表示) ] です。
- 歩行試験モード : (6 分間) 歩行試験レポートを作成するために特化した解析モードです。作成できるレポートは 1 種類で、[ 歩行試験 ] のみです。
- 労作情報なしモード : 労作情報を解析には使用しないモードです。労作情報を持たない別形式ファイルで読み込まれた測定データは、本モードが自動的に選択されます。全ての解析レポートを作成できますが労作情報を利用したグラフ表示や統計解析は行われません。

### 重要

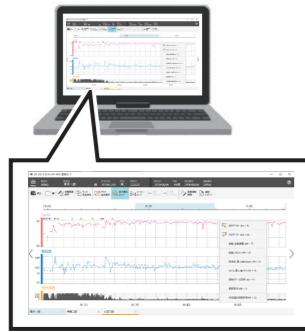
- 本ソフトウェアの対応機種は PULSOX-Me500 のみです。
- 本ソフトウェアは Microsoft Windows 10 Pro(64bit)、Microsoft Windows 10 Home (64bit)、Microsoft Windows 11 Pro(64bit)、Microsoft Windows 11 Home (64bit)に対応しています。
- 本書では、Windows と総称して使用します。
- 本体とパーソナルコンピューターとを接続する USB ケーブルは、別売りの専用ケーブル UC-500a 1m を必ずご使用ください。



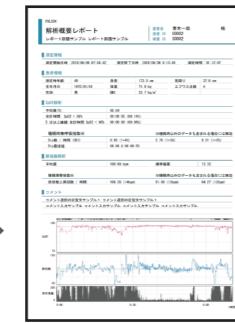
(別売り) 本体



(別売り) UC-500a 1m



本ソフトウェア



解析レポート

### ヒント

- 本体は 8 台まで同時接続 (USB 接続) ができます。
- 本体をパーソナルコンピューターから取り外す場合は、Windows のタスクバーから [ デバイスの取り出し ] を実行してから取り外してください。

## 2 機器設定をする (測定を始める前に)

### 1 接続

- UC-500a 1m を用いて本体をパーソナルコンピューターに接続します。
  - USBバスパワーにより、本体の電源が自動でONになります。
  - 本体の画面が、右の例のように切り替わります。



### 2 起動

- デスクトップの [DS-Me500] をダブルクリックします。
  - 本ソフトウェアが起動します。

### 3 設定

- [ ] - [機器設定] の順にクリックします。
  - [機器設定] 画面が表示されます。
  - 現在接続されている本体がリスト表示されます。設定したい本体を選択し、左端にチェックを入れます。



- 変更したいセルをクリックし、入力します。
  - 設定値を変えると太字になります。

(1) 機器番号  
(2) 檢査 ID  
(3) オートパワーオフ  
(4) 行動記録



- 変更したい項目をチェックし、[実行] をクリックします。



番号	項目	説明
(1)	機器番号	本体に任意に設定できる機器番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>本体に任意の番号(半角最大 10 桁)を設定できます。</li> <li>初期設定では本体の製造番号と同一の番号が設定されています。</li> </ul>
(2)	検査 ID	測定データに記録される任意の ID(最大 20 桁) <ul style="list-style-type: none"> <li>半角英数またはアンダースコア( _ )、ダッシュ( - )、ピリオド( . )、スペース( )、コロン( : )、プラス( + )が入力できます。</li> <li>初期設定では空白になっています。</li> </ul>
(3)	オートパワーオフ	本体の電源をオンしてから自動的にオフするまでの時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 時間から 40 時間まで、1 時間単位で、時間を入力します。</li> <li>初期設定では、40 時間が設定されています。</li> <li>オートパワーオフを設定しないというモードはありません。</li> </ul>
(4)	行動記録	本体の行動記録機能の有効/無効の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定では、行動記録機能が有効になっています。</li> <li>行動記録機能を有効にすると、本体の測定中にサイドボタンを長押しすると、本体画面に現在時刻が表示され、同時に測定データにボタンを押したタイミングをアクションフラグとして記録できるようになります。</li> <li>変更したいチェックボックスをクリックします</li> </ul>
(5)	時計設定	本体の日時設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>パーソナルコンピューターの日時が本体にそのまま設定されます。設定前にパーソナルコンピューターの日時が正しいか確認してください。</li> </ul>
(6)	測定データ削除	本体の測定データを全て削除します

### 4 プロテクト解除

- [実行] をクリックします。
- 機器側面のボタンを長押ししてプロテクトを解除します。
  - [完了しました] 画面が表示されたら、機器設定は完了です。

### ヒント

- 60 秒以内に長押ししない場合には、確認画面が表示されます。
- 測定データがすべて削除されます。
- 一度、プロテクトを解除すると、本体をパーソナルコンピューターから切断するまではプロテクトが解除されています。



# 本ソフトウェアの概要と操作のながれ

## 3 測定データの読み込みと解析 (測定後に)

### 1 測定データを読み込み

- 本体から読み込む場合は、[読み込]をクリックします。



- 1 読み込みしたい測定データを選択します。

**重要**

- [製造番号と検査 ID が同じデータは結合]にチェックし、同じ本体で複数の測定データを選択すると、測定データが結合されて一つのデータになる場合があります。
- 同じ本体で複数の患者に対してご使用の場合には、異なる患者のデータを結合してしまう場合がありますので、チェックを外してください。

- 2 測定データ名を変更する場合、セルをクリックし入力します。

- 患者情報を変更する場合、セルをクリックし入力します。

**ヒント**

- 測定データを読み込み時に、自動で測定データ名がつけられます。

例)  
ACM3DP-001\_2020 09 05 \_ 15 10 17  
製造番号 年 月 日 時 分 秒

- 3 解析モードを選択します。

**ヒント**

- 解析モードの初期値は、通常モードです。
- [MENU] - [各種設定] - [ソフトウェア設定] の [PULSOX 読込の解析モード設定] より、デフォルトを変更することができます。

- 4 読み込みと同時に操作を行うチェックボックスを指定します。

- 初期設定では、[測定データを開く] の操作にチェックが入っています。

- 5 [実行] をクリックします。

**ヒント**

- 読み込みを行うためには、一つ以上の操作、および、一つ以上の測定データが選択されている必要があります。

- パーソナルコンピューターに保存した測定データを開く場合は、[開く]をクリックします。



- 1 測定データの保存フォルダをクリックします。

- 2 開きたい測定データを選択します。

- 3 [実行] をクリックします。

**ヒント**

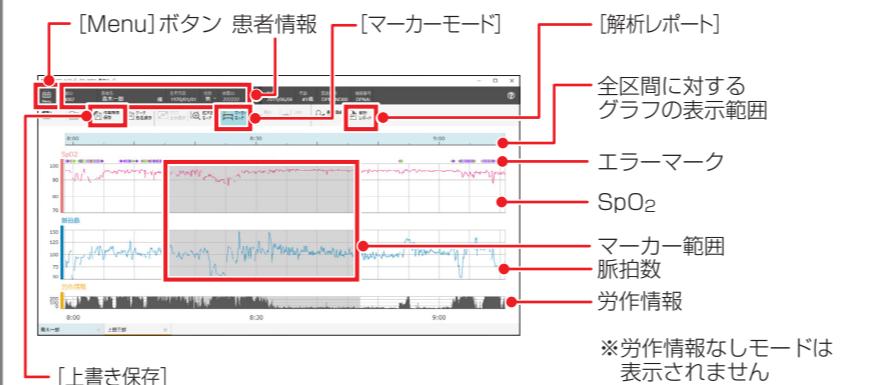
- 測定データを開くには、一つ以上の操作、および、一つ以上の測定データが選択されている必要があります。

**重要**

- 患者情報を変更して、[実行] をクリックすると確認のメッセージ画面が出ます。更新するためには、[OK] をクリックしてください。

### 2 測定グラフ画面の表示

本体から測定データを読み込む、あるいは、測定データを開くと表示されます

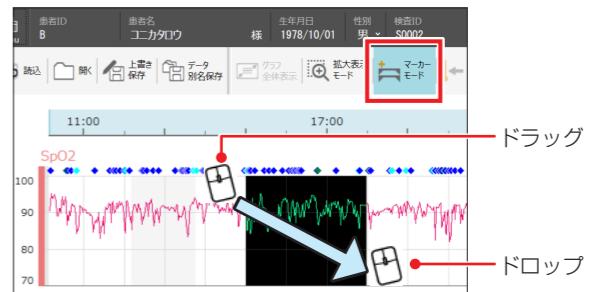


[上書き保存]、[マーカーモード]、[解析レポート]については、次の手順をご覧ください。

### 3 測定データの解析

- グラフ画面に表示されている測定データの解析を行います。

- 1 マーカー設定をします。



- [マーカーモード] をクリックします。
- マーカー開始位置でドラッグし、マーカー終了位置でドロップします

**ヒント**

- 測定したデータ全体から解析に使用するデータ範囲をマーカーを使って設定します。マーカー範囲内、範囲外のみでの解析が可能です。マーカーを設定しなければ全データで解析が行われます。

- 2 解析情報を保存します。

- [上書き保存] をクリックします。
- 解析情報保存画面が表示されます。解析対象を選択します。
  - [全データ]：マーカー有無によらず、測定データの全範囲を解析します。
  - [マーカー内]：マーカーの範囲内のみを解析します。
  - [マーカー外]：マーカーの範囲外のみを解析します。
- [OK] をクリックします。



- 3 解析レポート(PDF形式)を作成・保存します。

- [解析レポート] をクリックします。
- 保存先フォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 解析レポート(PDF形式)が作成され保存されます。
- 解析レポート画面で、[解析レポートを開く] にチェックし、[OK] ボタンをクリックした場合、自動的に PDF 形式の解析レポートが開かれます。



**ヒント**

- 開かれたソフトウェアより印刷することができます。
- 開かれるソフトウェアは、お使いのパーソナルコンピュータの設定によって異なります。
- 印刷方法は、開かれたソフトウェアの取扱説明書などでご確認ください。

### 4 終了

- 画面右上の [×] をクリック、または [Menu] - [データ] - [終了] を選択し、本ソフトウェアを終了します。